にし歯科だより

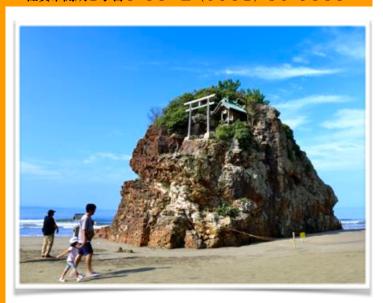


院長

実は、日本ミツバチの ファミリーが大変なこと になっていました。7月 23日に作ってきた巣が落 ちてしまって、多くの蜂 がパニックになってしま い、それを再建しないと いけないという窮地に立 たされました。蜂たちを 新しい木枠に入れて、住 み着いてもらう様に頑 張ってどうにか成功した 様です。初心者しいきな りの最高レベルの作業で したので、養蜂家として 成長してしまいました。



歯科衛生士 井田 あちこちで彼岸花が 咲き始めていいます。 いくら気温が高くて も必ず同じ時期に受くんですね。まだで だ残暑が厳しいさず でが、体調を崩さず 張りましょう。



神々が集う、大いなる社 出雲大社

出雲大社は「縁結びの神様」として、また「因幡のしろうさぎ神話」で有

名な、大国主大神(おおくにぬしのおおかみ)をお祀りしています。かねてより訪れてみたいと思いながら、なかな行くことができないでいた出雲大社にこの敬老の日の連休に思い切って出かけました。上の写真は参拝のスタート稲佐の浜です。凛として気高さを感じました。ここが大国主大神が生田の困難を超えて開拓された国を、天照大御神に話し合いで譲ったという国譲り神話の現場です。話し合いで国を譲り渡





にし歯科だより

すことができるなら、この世から 戦争はなくなるでしょう。国を 譲った代償として、太さ1mの杉 の巨木を3本束ね柱で、本殿の高 さは48メートルあったと伝承さ れる古代出雲大社が造営された。 右の写真は縁結びの神と言われる 大国主命。前のページの写真は日 本最大級の大しめ縄と、ヤマタノ オロチ退治で有名の須佐之男命を お祭りする素鶩社(ソガ/ヤシロ)で、 ご利益の大きいパワースポットで す。





庭園日本一 足立美術

近代日本画を中心とした美術館で、大山大観のコレクションとともに日本一の庭園が有名なところです。大きな駐車場を備えて多くの拝観者で別格の観光地のような感じもあり、意外でした。しかし、庭園は本当に美しい。数名の庭師の方が作業をしているところも見ることもできましたが、若い人もいて、こんなところで剪定が出来たら幸せだろうと思い



「からすたろう」 八島太郎

1955年アメリカ、1979年日本で刊行

毎年夏に学校保険委員会で、若楠小学校に行きます。今年は9月初めに小学校の図書室で開催されました。会議が終わって校

2

長先生にNHKの日曜美術館で特集された「からすたろう」のことを尋ねました。そして見せていただきました。作者はアメリカに移住した日本人です。八島太郎はアメリカ人になって、日本のことを少し忘れた頃に書いたので

はないでしょうか。しかし、理解のある先生と出会って知的障害を持つからすたろうの良いところを引き出し、周りの人間たちも見方を変えていくという内容は、今の時代にも多くのことを教えてくれる。50年前、私の中学校は1組から9組までは普通のクラスで、10組が特殊学級でした。その頃はそう呼んでいました。しかし普通に付き合っていました。そりゃあ、いろんな人がいますよ。それがうまく付き合っていくのが社会というものなのです。私は絵本の中での様に「ちび・うすのろ・とんま」とか呼んだことはなかった。おおらかな昔のままがよかったのではないだろうか。LGBT法なんかが決まったら、変な強調が始まりそうで子どもたちがかわいそう。

